

# 男女共同参画おかやプランⅢ策定記念事業 「おかや市民のつどい」 開かれる

パートナーシップ  
おかや No.3

## 記念特別講演

- ◆演題：「地域のソフトパワー」
- ◆講師：坂東真理子さん（元内閣府男女共同参画局長）  
坂東さんは、約200名の聴衆を前にして、ソフトな語り口で話し始めました。



坂東真理子さん

岡谷市で立派な「男女共同参画条例」「男女共同参画おかやプランⅢ」ができたことは、すばらしい岡谷にするための第1歩だと思えます。男女共同参画は、よい地域をつくるためのステップです。

今まで国は、政治、経済など「ハードパワー」の面に力を入れてきましたが、21世紀は安全な社会、高い教育水準、新しい文化、行政サービスの良さなど、地域の「ソフトパワー」が大事になります。このソフトパワーがあるかないかで暮らしやすさが決まります。地域を良くするには、男女が共に知恵をしぼり、新しい力をどのように引き出すか、自分たちの実践の積み重ねが必要で、今後地域の差が出てくるでしょう。

また、国は2020年までに、あらゆる分野の指導的地位を占める女性の割合が、30%以上になるように取り組んでいます。住みよい地域づくりには女性の参画が必要です。男女は同じではありません。違うからこそ女性が政治や職場に参画する必要があります。厳しくても政策・方針決定の場に女性も参画し、自らの努力と共に、周囲からも育てて頂きながら、魅力ある地域づくりを男女共同参画で進めていきましょう。と話されました。

## パネルディスカッション

今井朗子松本大学地域総合研究センター研究員をコーディネーターに「認め合い、ともに輝く地域づくりを目指して」をテーマにして進められました。

パネリスト、林新一郎市長は「まだ、しきたりや慣習は残っているが、あらゆる分野で男女共同参画を推進している。市職員の女性管理・監督職は8.7%と諏訪圏内では一番高い。」

矢澤進一岡谷小学校長は「男女を区別せず、友達の良いところを見つけようと生活のなかで指導している。」

永田修平(株)永田製作所代表

取締役は「適正な職場やチャンスは平等に与える。女性は35才以上を採用し定年まで働いてもらう。女性も自信を持って欲しい。」

小口光子男女共同参画推進市民の会代表は「一番身近な、区議員に女性の参画をと願い、男性の協力も得て進めている。男女とも地域のしきたりや慣習にとらわれず、男性は格好つけないで、女性は勇気を出し、やる気を出して政策決定の場に一步踏みだしてみましよう。」などと発言されました。



パネルディスカッションの様子

心豊かな  
男女共同参画社会の  
実現をめざして

6月に市内全戸配布された「男女共同参画おかやプランⅢダイジェスト版」をご覧になりましたか？いつも手元に置いて「岡谷市のめざす男女共同参画社会」を一緒につくりあげていきましょう。



岡谷市男女共同参画推進市民の会では「おかやプランⅢ」をもとに、お互いに尊重し合い、個性と能力を十分発揮できる、心豊かな岡谷市をめざして、市民のみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

今回は「おかやプランⅢ」目標Ⅱの「男女共同参画の社会環境づくり」をとりあげました。

## 市内の事業所に伺いました

### マルゴ工業(株) …社長さんのお話

- ◎仕事も給料も、会社に貢献度のある社員は男女同じ扱いにしています。
- ◎女性の管理職も一人います。
- ◎特殊技術、専門技術のある社員は男女同等に扱っています。
- ◎外国籍の社員も頑張っています。



マルゴ工業(株)にて

### ㈱永田製作所 …管理事務担当女性社員さんのお話

- ◎私も努力して頑張っていますが、家族の理解（特に夫）と協力、職場の先輩の理解（自分も経験してきたことだから）、そして会社の暖かい支えに感謝しています。
- ◎子育てを過ぎた女性は、経験を生かし、ベストを尽くして働くことが大切。
- ◎子育て中の女性を支える公的制度をしっかりとつくりたい。

### 市立岡谷病院 …看護部長さんのお話

- ◎育児休業について、取得しやすい環境の整備に配慮しており、制度を活用して職場復帰する看護師が多くなってきました。
- ◎未就学のお子さんは、保育園や託児所へ預けて働いている例がほとんどです。
- ◎勤務が不規則ですので、育児をしながら仕事を続けるのは大変ですが、配偶者等の協力を得ながら上手に両立しているようです。
- ◎人の命に関わる看護という職に誇りを持ち、生きがいを感じながら仕事を続けています。

## 子育て中のお母さん30人に聞きました 「こどものくに」「市民総合体育館」にて

○お子さんの人数は？ 1人(10人) 2人(17人) 3人(3人)	○家族以外に子育てに協力していただいている人は？ 友人・知人にいつも協力していただいている人(4人) 友人・知人に時々協力していただいている人(8人)	○仕事を持っている理由は？ 経済的なゆとりが欲しい(6人) 経済的に不安定で働かざるを得ない(2人) 自分のため、生涯働き続けたい(2人)
○家族構成は？ 核家族(24人) 祖父母と同居(5人) 単親家族(1人)	○仕事を持っていない理由は？ 子育てに専念したい(10人) 子どもが小さかったり介護で働けない(7人) 預ける場所がない(1人) 夫の転勤があるので働けない(1人) 収入より保育料が高くなる(1人)	○子育てと仕事の両立で大切なことは？ 1 夫や家族の協力(26人) 2 職場の勤務条件(16人) 3 保育料の軽減、補助の拡大(11人) 4 保育所、託児所の整備(10人) 5 本人の意思、意欲(9人) 6 職場の上司、同僚の理解(8人) 7 多様な働き方ができる制度(8人)
○就学前の子育てへの関わりは？ 父親がほとんど関わっていない家族(9人) 別居している祖父母が関わっている家族(13人)	○子どもの手が離れたとき仕事をもちたいですか？ 仕事に就きたい人(20名中19名) 保育園に入園したら(7人) 小学校に入学したら(7人) その他(5人)	※( )内は回答者数
○子育てと仕事の関係は？ 仕事を持っていない人(20人) 持っている人・常勤の仕事(4人) パートの仕事(6人)		

## 仕事と子育ての両立は？

◇核家族が多く、子育てには別居している祖父母との関わりが大きい。一方、父親がほとんど関わっていない家庭も3分の1あり、家庭での共同参画はもう一步。

◇友人や知人に協力してもらえ関係を作っている人もいる。

◇全体的には半数の人が、子どもの小さいうちは子育てに専念したいと考えているが、子どもの手が離れたら働きたいと考えている人が圧倒的に多い。その理由は、経済的なゆとりを持ちたいということの他、夫の収入の不安定さや、自分自身のためと考えている人もいる。

\*女性も家事や育児だけでなく、働きたいという気持ちを持っていることがわかります。そのために大切なことは、夫や家族の理解・協力、職場の勤務条件や上司・同僚の理解、働きやすい保育環境の整備の他、本人の強い意志も大切だということが伺えます。そのためには、これまでの常勤とパートというような一律の枠組み等を見直して、女性のキャリアが活きるよう、多様な働き方ができる勤務体系に改善することが大切ではないでしょうか。

男女共同参画のお問い合わせは…生涯学習企画課(内線1459)